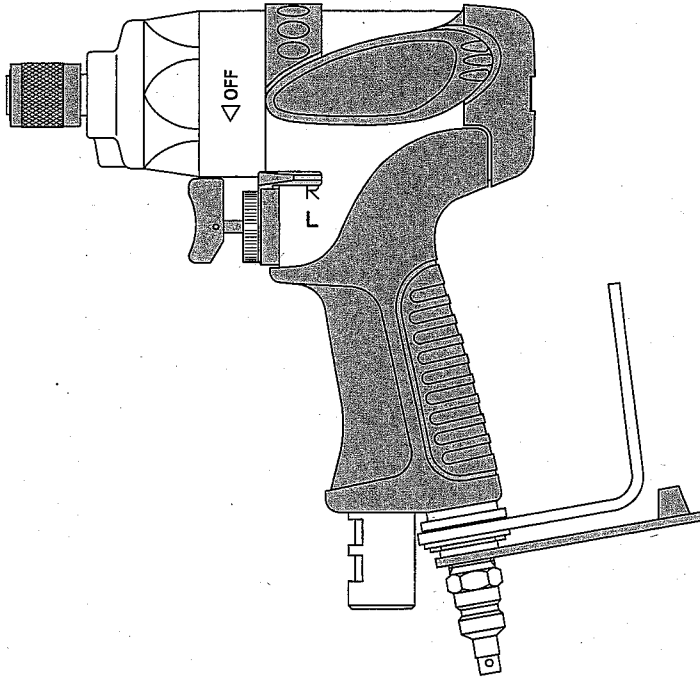


Makita

高圧エア・インパクトドライバ

モデル **AD605H**

取扱説明書





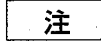
このたびはマキタ高圧エアインパクトドライバAD605Hをお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。


- ご使用に先立ち、この「取扱説明書」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しくお使いください。
- 不適切な取り扱いが事故につながりかねませんので、本機の性能を十分にご理解の上で適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

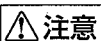
目 次

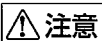
1. 各部の名称および標準付属品	P. 1
2. 主要機能	P. 1
3. 用途	P. 2
4. 安全上のご注意	P. 3
5. 高圧エアインパクトドライバ安全上のご注意	P. 5
6. 使用方法	P. 6
7. 保守・点検	P. 12
8. 故障かな?と思ったら	P. 13


●注意文の の意味について

ご使用上の注意事項は  、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

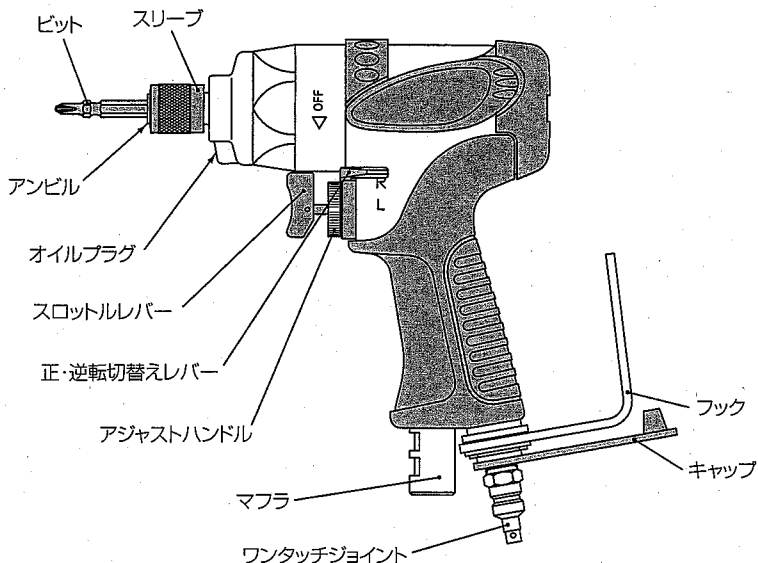
 **警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

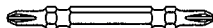
なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な事項を記載していますので、必ず守ってください。

 **注**：製品および付属品の取扱いなどに関する重要なお注意。

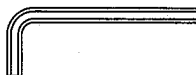
1 各部の名称および標準付属品



標準付属品



+ビットNo.2X65



六角棒レンチ 4mm



タービン油 VG32

2 主要機能

モデル	AD605H
機体寸法	全長 151 mm (ビットを除く本体)
質量	1.1kg (フック部を除く)
無負荷回転数	0~10000 min ⁻¹
能力ネジ径	直径 3.5~6 mm
中心~外径の寸法	26.0 mm (ゴムプロテクタを含む)
ビット挿入寸法	6.35 mm
ホース内径	高圧エアホース 6 mm 以上
ワンタッチジョイント	高圧用型
使用空気圧力	1.0~2.3MPa(約10~23kgf/cm ² G)(ゲージ圧)

●改良のため、主要機能および形状などは、変更する場合がありますので、ご了承ください。

3 用途

●主な用途

木工用ねじ（なげしビス、万能ビス）などの締付け、ゆるめ作業



● ボルト・ナットの締付け作業には使用しない。

AD605H高圧エアインパクトドライバは高トルクを発生します。

そのため、急激に回転が停止（ロック）するようなボルト・ナット締めなどの作業では、ソケットが破損したり、本機のハンマ部が破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

4 安全上のご注意

- エア工具を正しく安全にお使いいただき、火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 取扱説明書に指定された用途以外にはお使いにならないでください。
3. エアホースを持って工具を運ばないでください。
機械が不意に作動するとケガの原因になります。また、エアホースは鋭利な角に接すると切れやすいので注意してください。
4. 無理な姿勢で作業しないでください。
常に足場に注意しないと、機械や体のバランスを失い、事故の原因になります。
5. 埋設物を事前に調査し、細心の注意を払って作業してください。
作業中、ネジ類や工具が内部配線やガス管などに触れますと感電やガス漏れ事故の原因になります。
6. エアコンプレッサー以外は絶対に使用しないでください。
空気以外の高圧ガス（例：酸素・アセチレンなど）を使うと異常燃焼をおこし、爆発する恐れがあります。

注意

1. 作業場の安全
 - ・作業場所の安全を確保してください。
作業場所は十分に明るくし、いつも整理整頓に心がけてください。
作業場所には関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険ですから注意してください。
2. 使用前に機械の点検
 - ・故障部分はありませんか。
 - ・ネジ類などがゆるんだり、脱落していませんか。
 - ・欠損部品、さび付き部品などはありませんか。
3. 作業に適した服装
 - ・きちんとした服装で作業してください。
袖口の開いた衣類、ネクタイやネックレスなどの装身具は、回転部などに巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・作業中は保護メガネを使用してください。
作業環境に合わせて、安全靴、保安帽、マスクなども併用してください。

注意

4. 安全で能率の良い作業

- ・機械や付属品は、その能力を超えて使用したり、急激な操作はしないでください。
- ・運転中は、工具類や回転部などに手や顔などを近づけないでください。
ケガの原因になります。
- ・マフラは機械本体の排気部ですので、絶対にふさがないようにください。
- ・マフラの排気は、人や生き物などに向けしないでください。
- ・スロットルレバーに指をかけて持ち運ばないでください。
機械が不意に作動するとケガの原因になります。
- ・運転中に異常を感じた場合は直ちに運転を中止し、点検・修理に出してください。

5. 気持ちのゆとり

- ・気持ちにゆとりを持って、慎重に作業してください。
イライラした気持ちで作業することは事故の原因になります。
また、疲れている場合は使用しないでください。

6. 適度の休憩

- ・長時間の作業は控え、疲れる前に休憩しましょう。

7. 機械の保護

- ・機械は大切に取り扱いってください。
誤って落としたり、ぶつけたりすると外枠などが変形したり、亀裂や破損を生ずる場合がありますので、十分ご注意ください。

8. 機械の点検・整備・保管

- ・ゴミ、異物などの侵入は故障の原因となりますので、使用後は必ずカップリングをはずし、キャップをはめてください。
- ・使用後の機械は、すぐに手入れをし、常に最良の状態を保ってください。
- ・部品交換の際は、必ず指定されたマキタ純正部品をお使いください。
- ・いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
修理・点検は、お買い求めのマキタ登録販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・使用しない工具や付属品の保管場所として、次のような場所は避けてください。

×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所

×温度や湿度の急変する場所

×湿気の多い場所

×直射日光の当たる場所

5 高圧エアインパクトドライバ安全上のご注意

- 先にエア工具として共通の注意事項を述べましたが、高圧エアインパクトドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

1. 回転運動部などの作動部分に手を触れないでください！
使用中は、絶対に回転部には触れないでください。ケガの原因になります。
2. 作業中は軍手などを使用しないでください！
機械の回転部に巻き込まれ、ケガの原因になります。
3. 本機使用の際は、高圧コンプレッサ、高圧エアホースを使用してください！
4. 高い場所では、下に人がいないことを確認してから作業をしてください！
また、本機は安全で安定した場所に置くようにしてください。
5. 高い場所ではフックは使用しないでください！
下に人がいると事故の原因になります。
6. 人や生き物などに向けて機械を作動させないでください！
ビットなどの付属品がとぶと、ケガの原因になります。
7. 埋設物を事前に調査し、細心の注意を払って作業してください！
作業中、ネジ類が内部配線やガス管などに触れますと感電やガス漏れ事故の原因となります。

注意

1. 作業中は耳栓などを着用してください。
2. ご使用前には必ず回転方向などを確認してください。
3. 機械は確実に保持してお使いください。
4. ネジに合った指定ビット（マキタ純正部品）をご使用ください。
5. ビット類や付属品を交換する前に、必ず本機からエアホースを取りはずしてください。
6. 先端工具は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
ビットを取付けたあと、ビットを軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。
7. ネジの適正締付力はネジの材質やサイズ、締付ける場所の材質などによって異なりますので、ネジに合った締付け時間で作業してください。
8. 機械の使用空気圧力範囲は、1.0～2.3 MPaです。
2.3 MPaを超えた空気圧力で使うと工具の寿命が短くなるばかりではなく、破損の原因にもなりますので、2.3 MPa以下でご使用ください。
9. 不必要な無負荷運転はさけてください。
10. 騒音に関しては法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。
周囲に迷惑をかけぬよう規制値以下で使用されることが必要です。
状況に応じ、遮音壁などを設けて作業してください。

6 使用方法

◎用途

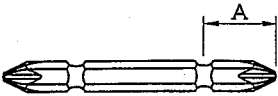
- ・なげしビスなど各種内装、外装木ネジ締付け、ゆるめ作業
- ・アルミサッシの組立、組付け、天井のボードビス締付け、ゆるめ作業
- ・その他各種ビス締付け、ゆるめ作業

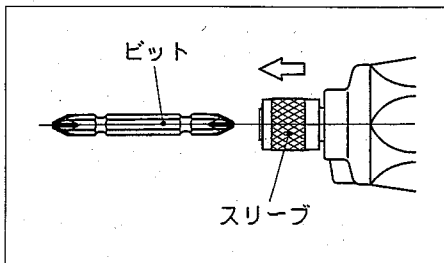
◎ビットの取り付け、取りはずし方

⚠ 注意

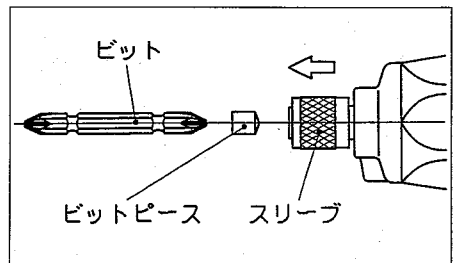
1. ビット類の付属品などの取り付け・取りはずしの前に、必ず本機からエアホースを取りはずしてください。
2. ビットは奥までしっかり差し込んで、確実に固定されていることを確かめてください。
3. ビットは軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

・ビットは下記のものをご使用ください。

	A=17mm	ビットピース(別販売)は不要です。 (※マキタ純正品は全てこのサイズです。)
	A=12mm	ビットピース(別販売)が必要です。 (市販品)



- ・マキタ純正品の場合は、スリーブを矢印方向に引きビットを差込み、スリーブを離してください。



- ・市販品(ビットピースを使用)の場合は、スリーブを矢印方向に引きビットピースビットの順に差込み、スリーブを離してください。

◎スロットルレバーの操作

- ・本機はスロースタート型無段スロットルが内蔵されています。
スロットルレバーはゆっくり引き、徐々に回転数を上げるように操作ください。
- ・ネジ締め作業中にアンビルが回転しなくなった場合は、スロットルレバーをもう一度引きなおしてください。再び打撃するようになります。
頻繁に打撃しなくなったら、オイルを補給または、交換してください。

⚠ 注意

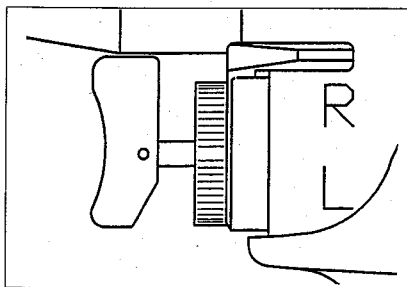
- ・スロットルレバーに指をかけて持ち運ばないでください。
機械が不意に回転するとケガの原因になります。

◎正逆転切替えレバーの操作

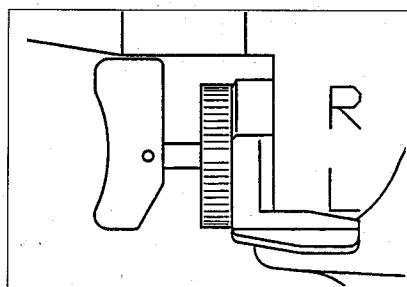
- ・正逆転切替えレバーをR側（上側）にするとビットは右回転（正転）し、L側（下側）にすると左回転します。
- ・切替えレバーはR側または、L側の所定の位置に確実に切替えてください。

※上記の右回転、左回転とは、本体の後ろ側から見たの回転方向です。

右回転（正転）



左回転（逆転）



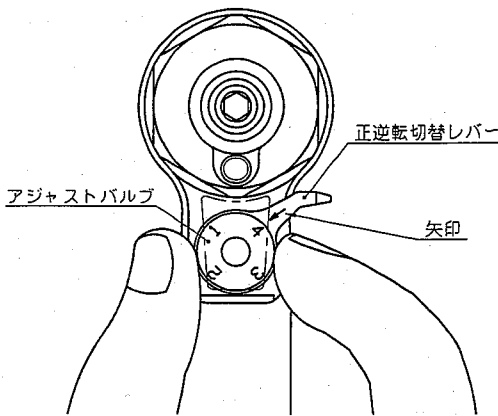
注

- ・ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
また、正転、逆転の切替えは回転が停止した状態で行ってください。
回転中に切替えますと故障の原因となります。

◎アジャストハンドルの操作

- ・アジャストハンドル（流量可変器）により、回転速度を4段階に調節できます。下表を参考にアジャストハンドルを使用条件に合った目盛に合わせてお使いください。

アジャストハンドルの目盛	締付け対象（ネジ）の目安
4（高速）	なげしビス 長さ75～150mmなど
3	なげしビス 長さ75mm以下など
2	小径ネジ 木ネジ 径3.5mm
1（低速）	



- ・アジャストハンドルの目盛を正逆転切替レバーの→印に合わせて速度を選択します。

※正逆転切替レバーをR、Lに切替えるとアジャストハンドルも同じように切替わるので回転速度は、変わりません。

注 ・アジャストハンドルの目盛を“1”（低速）で使用している時に、回転不良をおこしたり、または回転しない場合、一旦アジャストハンドルを“4”（高速）にして、正回転・逆回転を各10秒程2～3回繰り返してからご使用ください。

◎フックの使用について

- ・フックは全体で約180度、回転します。

⚠ 警告

- ・高い場所ではフックは使用しないでください。下に人がいると事故の原因になります。

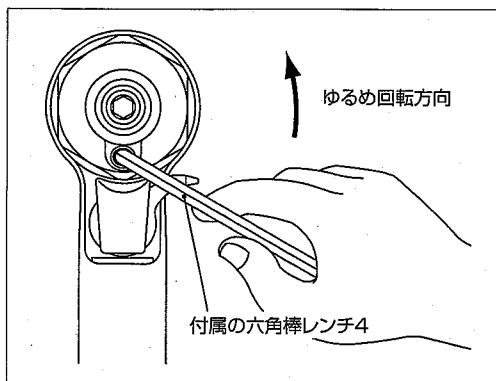
⚠ 注意

1. フックを使用する時は、必ず本機よりエアホースを取り外してください。
2. フックには大きな力をかけないでください。

◎注油について

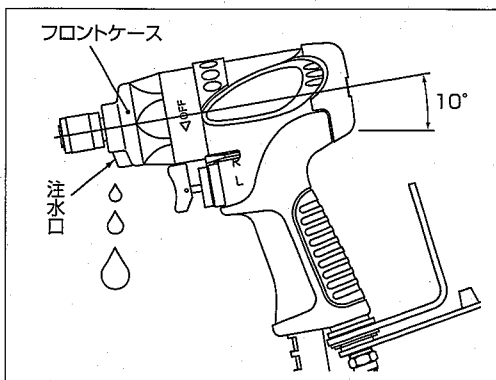
A. ハンマ部への注油

ハンマ部には、潤滑油としてオイル（タービン油VG32）が入っております。
1ヶ月に1回、必ずオイルの量を確認し、少なければ補充してください。



手順

1.注油口を上に向け、付属の六角棒レンチ4でオイルプラグをはずします。



2.注油口を真横より約10°下に傾け、しばらく待ちます。
注油口よりオイルがあふれ出るようであれば、注油の必要はありません。

3.オイルが出てこなければ、約10°下に傾けたときにあふれるぐらいまでオイルを注油してください。

オイルの種類:タービン油VG32(相当品)

4.付属の六角棒レンチ4で注油口にオイルプラグを取り付けます。

注

- ・オイルを入れすぎると、動作不良・能力不足の原因となりますのでご注意ください。
- ・フロントケースはネジ込み式になっていますので、注油口の位置は図示とは異なる場合もあります。

⚠ 警告

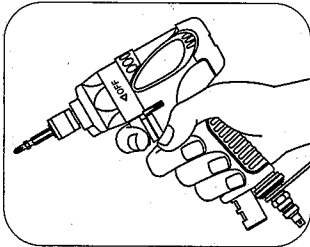
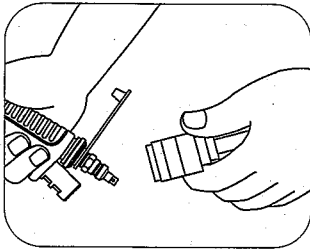
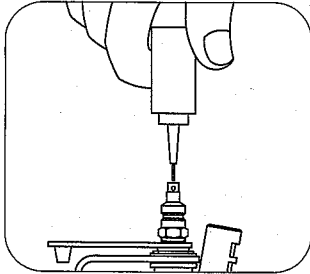
・ハンマ部へのオイル注油の際は、必ず本機からエアホースを取り外してください。

B. モーターへの注油

使用前と使用後には必ずモーターに注油してください。

回転部の動きを円滑にします。

注油を怠ると圧縮空気中に含まれる水分で回転部に錆を発生させます。



手順

使用前と使用後には必ず注油してください。

1. 付属のオイルをワンタッチジョイントの口から10滴程度を注油します。
(10滴程度は約0.2 mlです)

2. 高圧エアホースをつなぎます。

3. 2～3回、スロットルレバーを引いて空回転させてください。

注

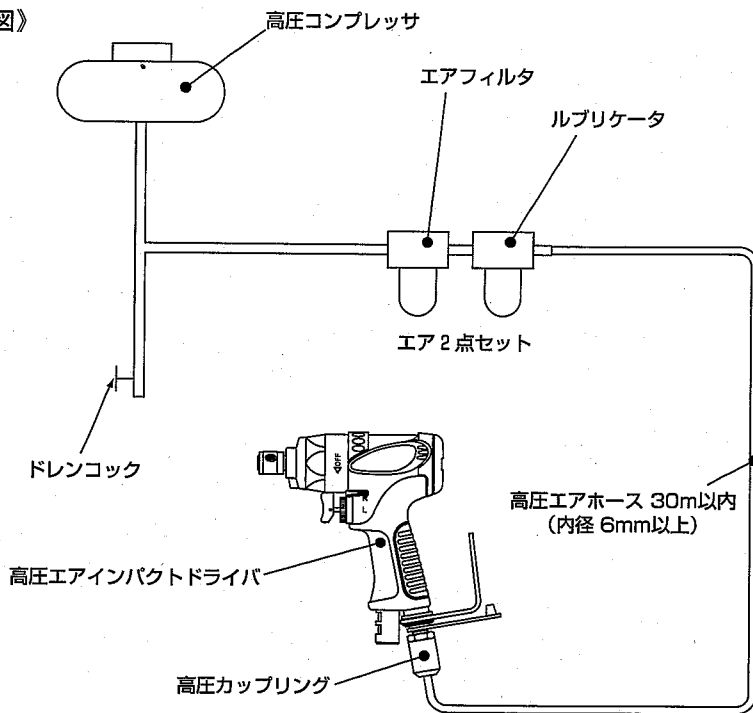
その際、オイルが霧状となって排気口（マフラ）から出ますので注意してください。

◎配管について

⚠ 注意

1. エア2点セットは必ず1セット取り付けて下さい。
2. 購入後、最初に本機を取付ける時や、エアホースを取り替えた時などは配管内やエアホース内のゴミを完全に除去してから本機を取付けてください。

《配管図》



◎エアコンプレッサについて

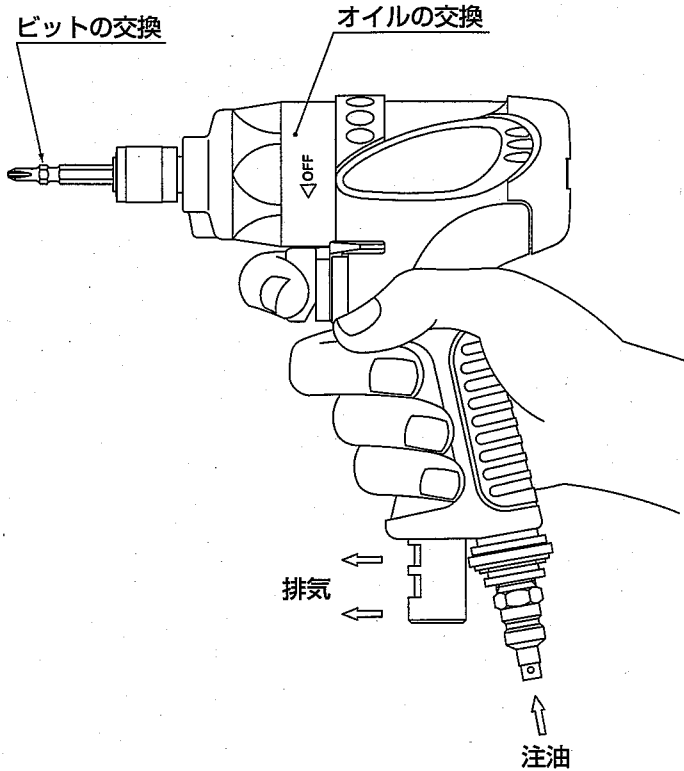
・ 90 mm以上の長いネジには、1.2馬力 (0.9 kw) 以上のエアコンプレッサをお使いください。

尚、120 mm以上の長いネジは、1.2馬力以上のエアコンプレッサでもエアインパクトドライバが回転せず、シューと空気漏れをすることがあります。

この時は、エアコンプレッサの空気圧力が上がってから、作業を再開してください。

7 保守・点検

- ・作業前、作業後は高圧用ワンタッチジョイントの給気口よりタービン油VG32相当を10滴程度、注油したあと2～3回、空運転（無負荷運転）を行ってください。
- ・ビットの先端部、その他に磨耗、キズや亀裂がないかを確認し、もし欠損がある場合、ビットを新品に交換してください。
- ・ネジ締め作業中に頻繁に打撃しなくなりましたら、オイルを交換する必要があります。お買い求めの販売店、または最寄の当社営業所にお申し付けください。



⚠ 注意

1. 作業前、作業後はエアコンプレッサータンク内の水抜きを行ってください。
2. 修理・分解はご自分でなさないで、必ずお買い求めの販売店または最寄の当社営業所にお申し付けください。

8 故障かな?と思ったら

・つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。

こんなとき	ここをおたしかめください		参照頁
・回転しない	・スロットルレバーをもう一度引きなおす。		
	・エアホースをはずしてから手でスリーブを2～3回、回転させる。 その後、エアホースをつなぎスロットルレバーを引く。		
・回転不良	・適正な空気圧力ですか。	・空気圧力を確認する。	①⑥
	・切替えレバーは、R側またはL側に所定の位置に確実に切替わっていますか。	・レバーの位置を確認する。	⑦
	・アジャストバルブの位置は正しいですか。	・アジャストバルブの位置を確認する。	⑧
	・カップリングは正常に作動していますか。	・カップリングを交換する。	⑪
	・コンプレッサのカップリングは正常に作動していますか。	・カップリングを交換する。	⑪

お客様メモ

ご購入の際、販売店名・連絡先などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

ご購入日 年 月 日	販売店 電話番号
---------------------	-------------

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	011(783)8141	足立営業所	03(3899)5855	東大阪営業所	06(6746)7531
札幌営業所	011(783)8141	大田営業所	03(3763)7553	関西物流センター	0725(46)6715
旭川営業所	0166(29)0960	江戸川営業所	03(3653)5171	南大阪営業所	0725(46)6611
釧路営業所	0154(37)4849	多摩営業所	042(384)8411	奈良営業所	0742(61)6484
函館営業所	0138(49)9273	立川営業所	042(642)1201	橿原営業所	0744(22)2061
苫小牧営業所	0144(68)2100	横浜支店	045(472)4711	和歌山営業所	073(471)4585
帯広営業所	0155(36)3833	横浜営業所	045(472)4711	田辺営業所	0739(25)1027
北見営業所	0157(26)9011	川崎営業所	044(811)6167	沖縄営業所	098(874)1222
仙台支店	022(284)3201	平塚営業所	0463(54)3914	兵庫支店	0794(82)7411
仙台営業所	022(284)3201	相模原営業所	042(757)2501	三木営業所	0794(82)7411
古川営業所	0229(24)0698	湘南営業所	0466(87)4001	尼崎営業所	06(6437)3660
青森営業所	017(764)4466	静岡支店	054(281)1555	神戸営業所	078(672)6121
八戸営業所	0178(43)3321	静岡営業所	054(281)1555	姫路営業所	079(281)0204
盛岡営業所	019(635)6221	沼津営業所	055(923)7811	広島支店	082(293)2231
水沢営業所	0197(22)5101	浜松営業所	053(464)3016	広島営業所	082(293)2231
郡山営業所	024(932)0218	甲府営業所	055(276)7212	福山営業所	084(923)0960
いわき営業所	0246(23)6061	金沢支店	076(249)5701	三原営業所	0848(64)4850
新潟支店	025(247)5356	金沢営業所	076(249)5701	岡山営業所	086(243)4723
新潟営業所	025(247)5356	七尾営業所	0767(52)3533	宇部営業所	0836(31)4345
長岡営業所	0258(30)5530	富山営業所	076(451)6260	徳山営業所	0834(21)5583
山形営業所	023(643)5225	高岡営業所	0766(21)3177	鳥取営業所	0857(28)5761
酒田営業所	0234(26)3551	福井営業所	0776(35)1911	松江営業所	0852(21)0538
秋田営業所	018(863)5205	岐阜支店	058(274)1315	高松支店	087(867)6411
宇都宮支店	028(634)5295	岐阜営業所	058(274)1315	高松営業所	087(867)6411
宇都宮営業所	028(634)5295	多治見営業所	0572(22)4921	徳島営業所	088(626)0555
小山営業所	0285(25)5559	松本営業所	0263(25)4696	松山営業所	089(951)7666
水戸営業所	029(248)2033	長野営業所	026(225)1022	宇和島営業所	0895(22)3785
土浦営業所	029(821)6086	上田営業所	0268(22)6362	高知営業所	088(884)7811
関東物流センター	048(771)3451	飯田営業所	0265(24)1636	福岡支店	092(411)9201
埼玉支店	048(777)4801	名古屋支店	052(571)6451	福岡営業所	092(411)9201
さいたま営業所	048(777)4801	名古屋営業所	052(571)6451	北九州営業所	093(551)3481
川越営業所	049(222)2512	一宮営業所	0586(75)5382	飯塚営業所	0948(26)3361
熊谷営業所	048(521)4647	東名古屋営業所	0561(73)0072	久留米営業所	0942(43)2441
熊谷営業所	0489(76)6155	知多営業所	0569(48)8470	佐賀営業所	0952(30)6603
前橋営業所	027(232)5575	岡崎営業所	0564(22)2443	長崎営業所	095(882)6112
高崎営業所	027(365)3688	豊橋営業所	0532(46)9117	佐世保営業所	0956(33)4991
岡毛営業所	0276(46)7661	四日市営業所	059(351)0727	熊本支店	096(389)4300
千葉支店	043(231)5521	津営業所	059(232)2446	熊本営業所	096(389)4300
千葉営業所	043(231)5521	伊勢営業所	0596(36)3210	八代営業所	0965(43)1000
市川営業所	047(328)1554	京都支店	075(621)1135	大分営業所	097(567)3320
成田営業所	0476(73)8101	京都営業所	075(621)1135	宮崎営業所	0985(26)1236
木更津営業所	0438(23)2908	福知山営業所	0773(23)7733	鹿児島営業所	099(267)5234
柏営業所	04(7175)0411	大津営業所	077(545)5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	03(3816)1141	彦根営業所	0749(22)6184		
東京営業所	03(3816)1141	大阪支店	06(6351)8771		
中野営業所	03(3337)8431	大阪営業所	06(6351)8771		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)